



2024年3月号（第12号）  
発行／静岡労働基準監督署

〒420-0858  
静岡市葵区伝馬町24-2  
相川伝馬町ビル2階・3階  
TEL 054-252-8165

## 労災保険の料率が変わります

令和6年度から労災保険率、労務費率、第2種特別加入保険料率を改定します。

令和6年度の労災保険の概算保険料は新しい料率で、令和5年度の確定保険料はこれまでの料率での申告をお願いします。

### 1. 労災保険率の改定

(令和6年4月1日改定)

| 事業の種類            | 番号  | 事業の種類  | 労災保険率     |           |
|------------------|---|--|-----------|-----------|
|                  |   |  | 新         | 旧         |
| 林業               | 02・03   | 林業   | 52/1,000  | 60/1,000  |
| 漁業               | 11  | 海面漁業（定置網漁業又は海面魚類養殖業を除く）                      | 18/1,000  | 18/1,000  |
|                  | 12  | 定置網漁業又は海面魚類養殖業                               | 37/1,000  | 38/1,000  |
| 鉱業               | 21  | 金属鉱業、非金属鉱業（石灰石鉱業又はドロマイト鉱業を除く）又は石灰鉱業          | 88/1,000  | 88/1,000  |
|                  | 23  | 石灰石鉱業又はドロマイト鉱業                               | 13/1,000  | 16/1,000  |
|                  | 24  | 原油又は天然ガス鉱業                                   | 2.5/1,000 | 2.5/1,000 |
|                  | 25  | 採石業  | 37/1,000  | 49/1,000  |
|                  | 26  | その他の鉱業                                       | 26/1,000  | 26/1,000  |
| 建設事業             | 31  | 水力発電施設、ずい道等新設事業                              | 34/1,000  | 62/1,000  |
|                  | 32  | 道路新設事業                                       | 11/1,000  | 11/1,000  |
|                  | 33  | 舗装工事   | 9/1,000   | 9/1,000   |
|                  | 34  | 鉄道又は軌道新設事業                                   | 9/1,000   | 9/1,000   |
|                  | 35  | 建築事業（既設建築物設備工事業を除く）                          | 9.5/1,000 | 9.5/1,000 |
|                  | 38  | 既設建築物設備工事業                                   | 12/1,000  | 12/1,000  |
|                  | 36  | 機械装置の組立て又は据付けの事業                             | 6/1,000   | 6.5/1,000 |
|                  | 37  | その他の建設事業                                     | 15/1,000  | 15/1,000  |
| 製造業              | 41  | 食品製造業  | 5.5/1,000 | 6/1,000   |
|                  | 42  | 繊維工業又は繊維製品製造業                                | 4/1,000   | 4/1,000   |
|                  | 44  | 木材又は木製品製造業                                   | 13/1,000  | 14/1,000  |
|                  | 45  | パルプ又は紙製造業                                    | 7/1,000   | 6.5/1,000 |
|                  | 46  | 印刷又は製本業                                      | 3.5/1,000 | 3.5/1,000 |
|                  | 47  | 化学工業   | 4.5/1,000 | 4.5/1,000 |
|                  | 48  | ガラス又はセメント製造業                                 | 6/1,000   | 6/1,000   |
|                  | 66  | コンクリート製造業                                    | 13/1,000  | 13/1,000  |
|                  | 62  | 陶磁器製品製造業                                     | 17/1,000  | 18/1,000  |
|                  | 49  | その他の産業又は土石製品製造業                              | 23/1,000  | 26/1,000  |
|                  | 50  | 金属精錬業（非鉄金属精錬業を除く）                            | 6.5/1,000 | 6.5/1,000 |
|                  | 51  | 非鉄金属精錬業                                      | 7/1,000   | 7/1,000   |
|                  | 52  | 金属材料製品製造業（鋳物業を除く）                            | 5/1,000   | 5.5/1,000 |
|                  | 53  | 鋳物業  | 16/1,000  | 16/1,000  |
|                  | 54  | 金属製品製造業又は金属加工業（洋食器、刃物、手工具又は一般金物製造業及びめっき業を除く） | 9/1,000   | 10/1,000  |
|                  | 63  | 洋食器、刃物、手工具又は一般金物製造業（めっき業を除く）                 | 6.5/1,000 | 6.5/1,000 |
|                  | 55  | めっき業   | 6.5/1,000 | 7/1,000   |
| 56               | 機械器具製造業（電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、船舶製造又は修理業及び計量器、光学機械、時計等製造業を除く） | 5/1,000                                      | 5/1,000   |           |
| 57               | 電気機械器具製造業   | 3/1,000                                      | 2.5/1,000 |           |
| 58               | 輸送用機械器具製造業（船舶製造又は修理業を除く）                                    | 4/1,000                                      | 4/1,000   |           |
| 59               | 船舶製造又は修理業   | 23/1,000                                     | 23/1,000  |           |
| 60               | 計量器、光学機械、時計等製造業（電気機械器具製造業を除く）                               | 2.5/1,000                                    | 2.5/1,000 |           |
| 64               | 貴金属製品、装身具、皮革製品等製造業  | 3.5/1,000                                    | 3.5/1,000 |           |
| 61               | その他の製造業   | 6/1,000                                      | 6.5/1,000 |           |
| 運輸業              | 71  | 交通運輸事業                                       | 4/1,000   | 4/1,000   |
|                  | 72  | 貨物取扱事業（港湾貨物取扱事業及び港湾荷役業を除く）                   | 8.5/1,000 | 9/1,000   |
|                  | 73  | 港湾貨物取扱事業（港湾荷役業を除く）                           | 9/1,000   | 9/1,000   |
|                  | 74  | 港湾荷役業  | 12/1,000  | 13/1,000  |
| 電気、ガス、水道又は熱供給の事業 | 81  | 電気、ガス、水道又は熱供給の事業                             | 3/1,000   | 3/1,000   |
| その他の事業           | 95  | 農業又は海面漁業以外の漁業                                | 13/1,000  | 13/1,000  |
|                  | 91  | 清掃、火葬又はと畜の事業                                 | 13/1,000  | 13/1,000  |
|                  | 93  | ビルメンテナンス業                                    | 6/1,000   | 5.5/1,000 |
|                  | 96  | 倉庫業、警備業、消毒又は害虫駆除の事業又はゴルフ場の事業                 | 6.5/1,000 | 6.5/1,000 |
|                  | 97  | 通信業、放送業、新聞業又は出版業                             | 2.5/1,000 | 2.5/1,000 |
|                  | 98  | 卸売業・小売業、飲食店又は宿泊業                             | 3/1,000   | 3/1,000   |
|                  | 99  | 金融業、保険業又は不動産業                                | 2.5/1,000 | 2.5/1,000 |
| 船舶所有者の事業         | 94  | その他の各種事業                                     | 3/1,000   | 3/1,000   |
|                  | 90  | 船舶所有者の事業                                     | 42/1,000  | 47/1,000  |

※労務費率（請負による建設工事において、賃金総額を正確に把握することが困難な場合に保険料の算定に使用する労務費率）、第2種特別加入保険料率の改定については、厚生労働省HPをご確認ください。

なお、第3種特別加入保険料率（海外で行われる事業に派遣される労働者等）はこれまでと同様

**3 / 1,000**

で改定はありません。

ご不明な点は静岡労働基準監督署労災課にお問い合わせください。

厚生労働省HP  
労働保険制度  
(制度紹介・手続案内)  
[QRコード ▼]



# 4月1日より労働条件明示のルールが変わります

労働契約の締結・更新のタイミングの労働条件明示事項が追加されます

| 明示のタイミング                               | 新しく追加される明示事項  |
|--|---|
| 全ての労働契約の締結時と<br>有期労働契約の更新時             | 1. <b>就業場所・業務の変更の範囲</b>   |
| 有期労働契約の<br>締結時と更新時                     | 2. <b>更新上限（通算契約期間または更新回数の上限）の有無と内容</b><br>併せて、最初の労働契約の締結より後に更新上限を新設・短縮する場合は、その理由を労働者に <b>あらかじめ説明</b> することが必要になります。                      |
| 無期転換ルール※に基づく<br>無期転換申込権が発生する<br>契約の更新時 | 3. <b>無期転換申込機会</b><br>4. <b>無期転換後の労働条件</b><br>併せて、無期転換後の労働条件を決定するに当たって、就業の実態に応じて、正社員等とのバランスを考慮した事項について、有期契約労働者に説明するよう努めなければならないこととなります。 |

※ 同一の使用者との間で、有期労働契約が通算5年を超えるときは、労働者の申込みにより、期間の定めのない労働契約（無期労働契約）に転換する制度です。

## 詳しい情報や相談先はこちら

- 改正事項の詳細を知りたい → 厚生労働省ウェブサイト ①
- 無期転換の取り組み事例や参考となる資料がほしい → 無期転換ポータルサイト ②
- 今回の制度改正や労働条件明示、労働契約に関する民事上の紛争について → 都道府県労働局/監督課、雇用環境・均等部（室）、全国の労働基準監督署 ③



## 年次有給休暇を活用し、働き方・休み方を見直しましょう



春の連続休暇には、ココロとカラダ、リフレッシュ。

年休所得促進  
特設サイト▶



## 静岡労働基準監督署へのアクセス



- JR静岡駅より徒歩約10分
- 静岡鉄道日吉町駅より徒歩約5分
- 申し訳ありませんが、駐車場がございません。公共交通機関をご利用ください。

### 編集後記

発行から、はやくも1年が経ってしまいました。1年間ありがとうございました。